



年頭のごあいさつ

院長 森田 信 敏

新年あけましておめでとうございます。

地域の皆さまの温かいご支援が職員の励みとなり、何とか新年を迎えることができました。

昨年の今頃は、当院で発生した新型コロナウイルスクラスターでご迷惑をお掛けいたしました。クラスターの収束後も国内では第4波、第5波と続いており、当院ではドライブスルー検査、コロナ陽性者の入院受け入れ、また、ワクチン接種など積極的な対応を行い、多少なりとも地域に貢献することができたのではないかと考えております。

10月以降はコロナ陽性者が激減し、そのまま収束するのかと期待しましたが、諸外国では感染者数が過去最高を更新し、オミクロン株の出現で早期収束の夢は打ち砕かれ、第6波が来ることを前提に準備をしていかなければならなくなりました。昨年は、受診控えなどにより一時的に患者数の減少などがありましたが、そのような状況下でも職員の努力と地域の皆さまの御理解で大きな落ち込みもなく、経営的に好調を維持できたことは指定管理者の院長として安堵すると同時に皆さまに深く感謝申し上げる次第です。

アフターコロナがなかなか見通せず、しばらくはウイズコロナの状況が続くと思われま。これまでのノウハウを活かして地道に感染対策を続けるしかありませんが、その中であってコロナでしばらく止まっていた地域医療構想の病床削減がまた推進されようとしています。また、医師の働き方改革についても厚労省はコロナと関係なく進めていく方向のようです。そのこと自体は良いことですが、当院のように常勤医師数が少なく、多数の非常勤医師に頼っている病院は影響が大きく、難しい舵取りが必要となりそうです。

地域医療を守る中小病院には厳しい時代が続きますが、コロナ禍で当院の存在意義も確認できましたので、引き続き生き残りをかけて病院運営をおこなって行きたいと考えております。

今年一年が牧之原市、吉田町にとって、また榛原総合病院にとって素晴らしい年になることを祈念して新年のご挨拶とさせていただきます。



新任医師紹介

<1月赴任医師>

ただの たかゆき

■ 麻酔科・総合内科 只野 隆幸 医師



年が明け、新型コロナウイルス感染症が全国、静岡県内でも再び拡大しつつあります。**変異株**は、強い感染力を有しています。**マスク着用、手洗い、「密」の回避**など、今一度基本的な感染対策を徹底しましょう。また、不急不要の外出は控えましょう。

<おねがい> 受診の際には、必ず『おくすり手帳』をご持参ください。